ＩＣＴ活用事例　Ｃ３（協働制作）
中学校３年・総合的な学習の時間　「地域貢献プロジェクトーSDGs を通して」
使用機器：１人１台端末、大型ディスプレイ
使用アプリ：プレゼンテーションソフト、学習支援ソフト

〈ＩＣＴ活用のポイント〉
① １人１台端末を利用し、必要な情報を各自が収集する。その情報について学習支援ソフトを使用することで、他者との情報共有を図り、他者の考えに触れる場面を設定する。
② 大型ディスプレイを活用し、整理方法の一斉指導にも使える。

１　単元の目標

ＳＤＧｓと地域貢献について考えることを通して、町づくりと自分との関わりについて理解し、調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現するとともに、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組み、積極的に地域貢献に参加しようとしている。

２　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の人々の地域活性化への思いを理解している。 ②地域の人に伝わりやすい表現方法するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 ③身近な地域に関心をもち、今の自分にできることを探究的に学んだ成果を身に付けている。	④自分達を取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだしている。 ⑤目的に応じて手段を選択し、適切な方法で情報を収集、蓄積している。 ⑥調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ⑦事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。	⑧探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴や良さを理解しようとしている。 ⑨自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 ⑩探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。

３　単元について

本単元は、ＳＤＧｓと自分の好きなことの結びつきを考え、地域や自分を取り巻く社会に目を向け探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための手立てを考えることを目的にしている。また、調べ学習や発表活動で終わるのではなく、実際に調べたことを社会に提案するために、自分のイメージをどうすれば実現することができるのか、市町村や各企業などと実際に交渉し、政策を立案、実行にうつすことの過程の難しさを知り、試行錯誤しながら活動することで、相手や目的・意図に応じて論理的に表現する力を身に付ける。

4　指導と評価の計画（３５時間）

時間	学習内容	知	思	態	評価方法
1 〜 4	・自分の「好き」を考える。(1) ・自分の「好き」と企業とのつながり、SDGs の取り組みを知る。(３)	②		⑧	・発言 ・ワークシート ・スライド
5 〜 6	・地域課題の解決に向けた目標・課題を立てる。(１) ・地域課題の解決に向けた研究計画を立てる。(１)		④		・発言 ・ワークシート
7 〜 30	・地域課題について調べる。 ・アンケート調査の実施 ・アンケート内容の考察 ・課題解決のために市や各企業等に連絡をする。 ・課題解決に向けた提案資料を作る。	① ②	⑦ ⑤ ⑥	⑧	・発言 ・ワークシート ・スライド ・ポスター ・研究レポート
31 〜 35	・グループでまとめたことを発表する。(２) ・市や企業等に報告をする。(１) ・報告をしたことをいかし再度研究結果を修正する。(２)	③	⑥	⑨ ⑩	・発言 ・ワークシート ・スライド

5　ＩＣＴの効果的な活用について

本単元の学習では、調べたり考えたりしたことを校内の発表に留めるのではなく、社会に還元できるのではないかと模索してきた。今回は自ら調査したものをレポート等にまとめ、市や企業等に提案し、掲示等のお願いを行った。

本時の授業では１人１台端末を使用することで各自が知りたいことを各自の興味に沿って調べることができた。また、調べたことを文書作成ソフトやプレゼンテーションソフト等を使用してまとめることで、クラウド上で他者との情報共有を図ることができた。教師が大型ディスプレイを活用し、情報を整理する方法を一斉に指導することもできた。

単元全体を通して、資料等を修正する際には１人１台端末は非常に効果的に活用できた。紙ベースではなくデータで作成、保存していくことで加除修正も行いやすかった。何回も電話等を使いながら相手方と連絡をとり加除修正を繰り返すことで成果物を作成することができた。

今回の実践では１人１台端末が導入されてから日が浅く端末の操作に不慣れな生徒もいた。しかし、クラウド上で共同編集をすることで、端末の操作について慣れていく様子も見ることができた。共同編集することで、多くの生徒が主体的に学びに取り組むことができ、支援が必要な生徒も含め学習を深めることができた。

また、単元の計画についても綿密に計画をしておくことが必要であると感じた。ＩＣＴを使うことが目的にならないように、ＩＣＴを効果的に活用する場面はどこなのか生徒自身にも考えさせたい。実際に探究活動をするのは生徒自身になるため、自らの足で調査するところとＩＣＴを活用するところを事前に検討しておくことが大事だと感じた。